

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価計画

達成度（評価）

A : 十分達成できている

B : おおむね達成できている

C: やや不十分である

D : 不十分である

学校名	鳥栖市立基里中学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	・働き方改革に対する職員の意識が高まってきたが、一部に（時期的に）時間外在校等時間過多の傾向がある。 ・生徒は落ち着いた生活態度で、学習や行事に取り組んでいる状況である。現状を維持しさらに高めるために、共通理解・共通実践を継続していく。
------------------	---

2 学校教育目標	「主体的に考え 行動することができる 生徒の育成」
----------	---------------------------

3 本年度の重点目標	(1) 小中一貫教育の充実 (2) 教科「日本語」の充実 (3) 教育相談の充実 (4) コミュニティ・スクールの充実
------------	--

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目										
重点取組				中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○生徒が主体的に学び、活動するための教育実践	○全ての教員が、各教科・各単元において「主体的・対話的で深い学び」の要素を取り入れた課題探究的な授業を展開する。 ○校内授業公開を学年ごとに各1本行う。	・各学年1回の授業研究会を行う。 ・生徒の実態調査(事前調査・事後調査)を行う。 ・学習指導案モデルの作成と検討を行う。							研究主任 全教職員
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○すべてのクラスで「ふれあい道徳」を行う。 ○全職員が人権・同和教育の重要性を認識するため、1人1回以上研修会に参加する。	・学年や学級の実情に合わせて、道徳教材の研究を継続的にを行い、情報交換をする。 ・担当を中心に各研修会の案内と参加の呼びかけを行い、参加・実施に努める。							道徳主任
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○月1回、生活アンケートを実施する。 ○QUアンケートの「ばかにされた」項目の否定的意見が80%以上。	・「いじめ・いのちを考える日」に「生活アンケート」を行い、生徒の実態を把握し、いじめの早期発見・早期解決につなげる。							生徒指導担当
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した生徒80%以上。 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒80%以上。	・定期的に学級・学年通信を発行する。 ・1、2学期に教育相談を実施する。 ・高校調べや職業体験等を生徒の発達段階に応じて行う。							進路指導担当
●健康・体づくり	㊟「望ましい生活習慣の形成」	○「早寝・早起きを心がけているか」のアンケート結果の肯定的意見が85%以上。 ○「毎日朝食をとっている」のアンケート結果の肯定的意見が85%以上。	・定期的に、アンケートを実施し、「早寝・早起き・朝ごはん」の実態把握し、啓発・指導を行う。							教育相談担当
	㊠「安全に関する資質・能力の育成」	○児童生徒の加害交通事故を0(ゼロ)にする。 ○防災に関する取組を年3回以上行う。	・1学期に交通教室と自転車点検を行い、生徒の意識を高める。 ・防犯に関する講演会に生徒だけでなく保護者の方も招待して行う。							安全担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・OJTの日常化と連携による校務の役割分担を行い、時間外勤務を削減する。 ・定時退勤日を実態に即した日に設ける。 ・部活動の計画的な運営と休業日を実施する。							教頭
●特別支援教育の充実	○インクルーシブ教育の推進	○すべての教室でユニバーサルデザインを意識した環境づくりを行う。 ○特別支援学級の保護者に対して、学期に1度は面談を行う。	・板書や掲示物等を各クラスの生徒の特性に合わせてように工夫をする。 ・特別支援学級の保護者に、定期的に面談を実施する。							特別支援コーディネーター
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										
重点取組				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○小中一貫教育の充実	★教科「日本語」の実践充実	★保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開学級率80%以上 ★保護者等に対する教科「日本語」に係る情報を年間3回以上公開した学級率80%以上	・授業参観日に、地域の文化や人材等を生かした体験学習を積極的に行う。 ・小中学校での乗り入れ授業や交流活動を積極的に行う。							教頭 学年主任
○開かれた学校づくり	○地域と連携した学校づくりの推進	○保護者、地域の方の学校行事への参加者増を目指す。 ○地域の人材を生かした授業や講演会を2回以上設定する。	・各種たよりや通信、HP、メール等を活用し、行事等の情報の発信を行う。 ・コミュニティ・スクールの運営を通し各種団体、地域等に協力を以てし、教育活動の活性化を図る。							教頭

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・ ・
----------------	------------------